

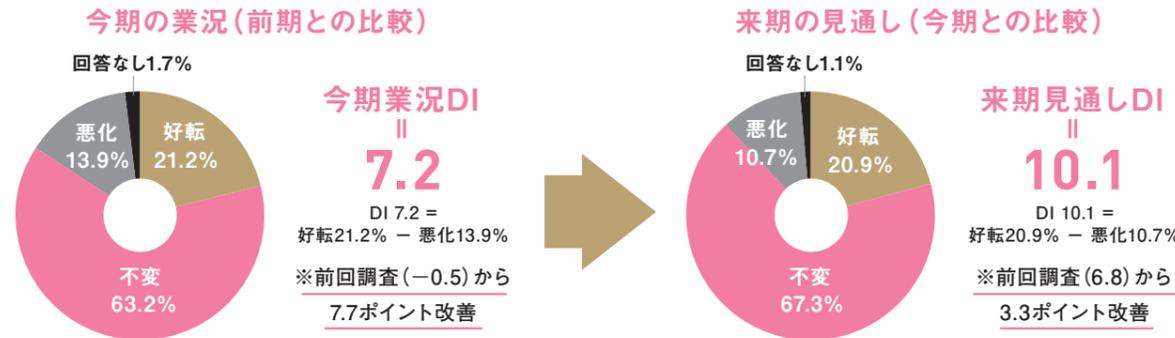
世田谷区における中小企業の景況

第62回調査実施概要

1.調査時期：平成30年1月5日～1月16日 2.対象期間：平成29年10月～平成29年12月期、および平成30年1月～平成30年3月期見直し 3.調査対象：支部会員中小企業(2,980社)①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資

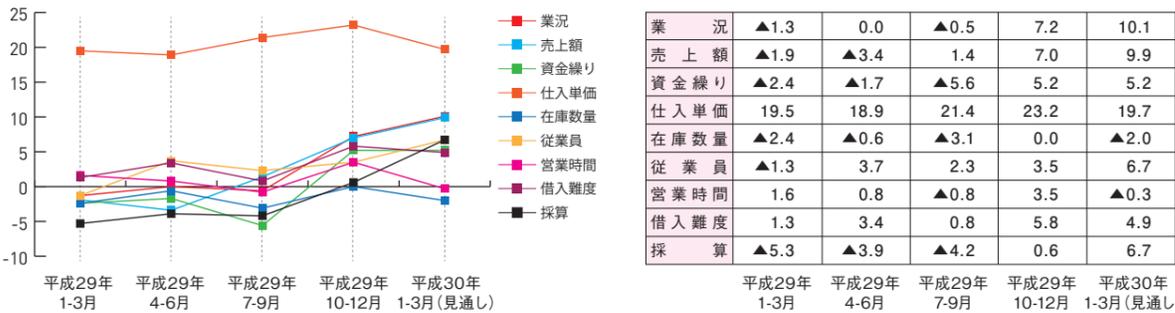
業況

今期(平成29年10月～12月期実績)の業況DIは、7.2ポイントで、前期から7.7ポイント改善した。1年ぶりにプラスに転じた。来期の業況見直しDIは、10.1ポイントと、前回調査から3.3ポイント改善する見直し。



主な指標別の傾向

今期、資金繰り5.2(前期比+10.9)、売上額7.0(同+5.6)と全指標でポイントが増加し、プラスに転じた。来期見直しは、採算6.7(当期比+6.1)、従業員6.7(同+3.2)など3指標で改善が見込まれるが、営業時間▲0.3(同▲3.8)、仕入単価19.7(同▲3.5)など4指標で悪化が見込まれる。



主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	7.2	5.8	7.0	2.3	5.2	23.2	0.0	3.5	3.5	5.8	0.6
製造業	5.4	13.5	5.4	0.0	10.8	8.1	▲5.4	10.8	8.1	5.4	13.5
建設業	7.2	14.5	1.4	10.1	13.0	24.6	▲2.9	1.4	4.3	14.5	10.1
不動産業	10.3	10.3	10.3	10.3	7.7	23.1	▲2.6	7.7	0.0	2.6	▲2.6
卸売業	15.8	21.1	21.1	18.4	15.8	28.9	0.0	7.9	0.0	15.8	2.6
小売業	▲4.4	▲20.6	7.4	▲16.2	▲5.9	30.9	10.3	▲4.4	1.5	4.4	▲20.6
サービス業	11.7	7.4	4.3	1.1	0.0	20.2	▲2.1	4.3	5.3	▲2.1	4.3

主要景況指数表[来期の見直し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	10.1	9.9	5.2	19.7	▲2.0	6.7	▲0.3	4.9	6.7
製造業	16.2	18.9	10.8	16.2	▲10.8	16.2	▲2.7	10.8	21.6
建設業	11.6	15.9	8.7	31.9	▲2.9	4.3	5.8	8.7	11.6
不動産業	10.3	17.9	7.7	17.9	▲2.6	17.9	▲2.6	5.1	2.6
卸売業	2.6	0.0	5.3	26.3	5.3	▲2.6	▲2.6	7.9	▲5.3
小売業	10.3	1.5	▲1.5	10.3	▲2.9	▲1.5	▲2.9	2.9	0.0
サービス業	9.6	8.5	4.3	17.0	0.0	9.6	0.0	0.0	8.5

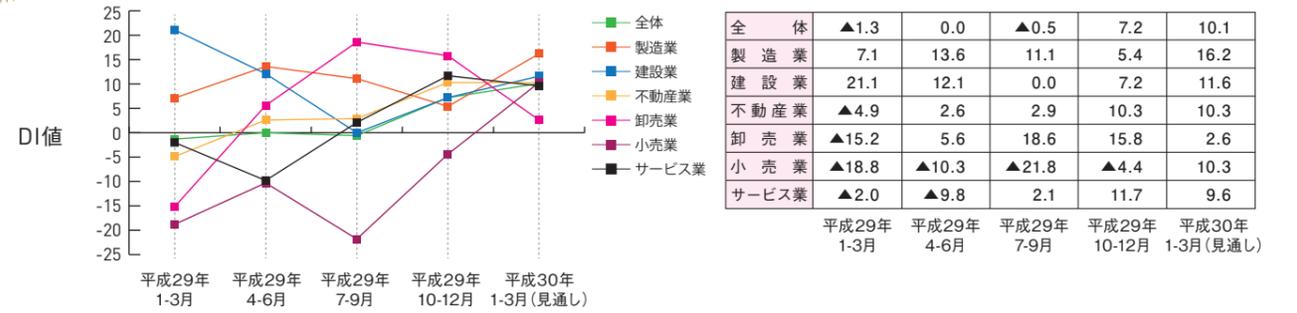
概況：<DI(Diffusion Index)とは…> DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

本1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。5.回収状況：合計345社(回収率11.6%) 製造業…37社・不動産業…39社・小売業(飲食業含む)…68社・建設業…69社・卸売業…38社・サービス業…94社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

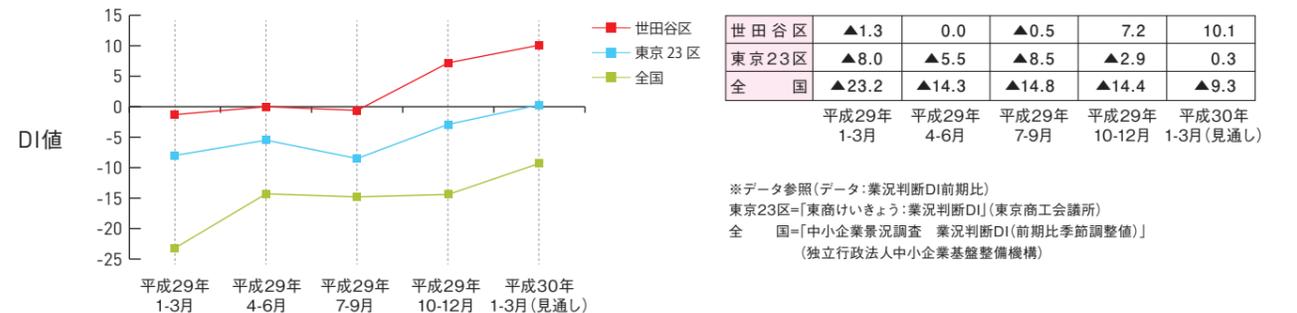
業種別の動向

今期の業種別DIは「小売業」▲4.4(前期比+17.4)、「サービス業」11.7(同+9.6)など4業種で改善した。来期は、「小売業」10.3(当期比+14.7)、「製造業」+16.2(同+10.8)など3業種で改善となる見直し。



東京都・全国との比較

「世田谷区」(7.2ポイント、前期比+7.7)、「東京23区」(▲2.9ポイント、同+5.6)、「全国」(▲14.4ポイント、同+0.4)と全てで改善。来期は、「世田谷区」(10.1ポイント、当期比+2.9)、「東京23区」(0.3ポイント、同+3.2)、「全国」(▲9.3ポイント、同+5.1)で引き続き改善する見直し。



経営上の問題点

1位「従業員の確保難」33.3%(前期比+1.8ポイント)は7期連続の1位、2位「人件費の増加」29.0%(同+6.2ポイント)は2期連続で2位となった。3位「仕入単価、下請単価の上昇」20.0%(同▲0.6ポイント)は前回順位5位から上昇した。4位「需要の停滞」19.1%(同+0.5ポイント)は前回順位7位から上昇。5位「購買ニーズの変化への対応」18.6%(同▲2.9ポイント)は前回順位3位から下降した。6位「新規参入者の進出や同業者の増加」15.9%(同▲4.9ポイント)は前回順位4位から下降した。その他、10位「取引条件の悪化」7.2%(同+1.0ポイント)、13位「事業資金の借入難」5.2%(同+1.6ポイント)は前回順位より上昇した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	従業員の確保難	115	33.3%	— 1	11	生産設備の不足・老朽化	21	6.1%	↓ 10
2	人件費の増加	100	29.0%	— 2	11	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	21	6.1%	↓ 10
3	仕入単価、下請単価の上昇	69	20.0%	↑ 5	13	事業資金の借入難	18	5.2%	↑ 15
4	需要の停滞	66	19.1%	↑ 7	14	その他	16	4.6%	— 14
5	購買ニーズの変化への対応	64	18.6%	↓ 3	15	在庫の過剰	12	3.5%	↑ 16
6	新規参入者の進出や同業者の増加	55	15.9%	↓ 4	16	購買力の他地域への流出	11	3.2%	↓ 12
6	人件費以外の経費の増加	55	15.9%	— 6	16	在庫の不足	11	3.2%	↑ 18
8	大企業(大型店)進出による競争激化	50	14.5%	— 8	18	金利負担の増加	5	1.4%	↑ 19
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	45	13.0%	— 9	19	代金回収の悪化	4	1.2%	↓ 17
10	取引条件の悪化	25	7.2%	↑ 13	20	生産設備の過剰	1	0.3%	↓ 19

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。